

恍太よ黄金の銃を撃て

作・演出 藤谷清六

Cast



森山 昭平 (故人)
tomoya



森山 節子 (喪主)
michy



おばあちゃん (故人の母親)
土井 マチ子



茂造
mu ma



伸介
小池 武



恍太
山本 将広



えみ
清水 えみこ



まり
上田 明日夏



はる
鶴岡 悠



松島 美歩 (尼僧)
渡邊 英里子



淡路 玲子 (昭平の愛人)
関根 涼子

『現在社会の象徴』



甲府市議会議員
金丸さぶろう

葬儀屋を営む私の友人によると、コロナ禍以降、葬儀の有りがたさが随分変わったそうです。家族葬はもとより、「一日葬」といった「通夜」無しの葬儀が増えているのだそうです。核家族化や地域関係の疎遠化などが影響しているのでしょうか。

今作は、「通夜」前日を舞台に、故人の近親者である登場人物達の喜怒哀楽がスピーディーに描かれていきますが、現在の世相が随所に込められております。認知症、発達障害、不倫、自己責任の欠如と責任転嫁など現在社会を象徴しているかのようです。5年前からのチャイナウイルスパンデミック、3年前からのロシアによるウクライナ侵攻、去年からのパレスチナ問題など、世界は予測不能な「まさかの時代」に突入しました。国内でも、元旦から能登半島地震に見舞われました。このような現況の中、本作はユーモラスな甲州弁の会話と、慣れ親しんだ固有名詞の登場に、思わず引き込まれていきます。ゴルフに縁がない私には専門用語の理解不足と、なんでここまで熱くなるのか素朴な疑問も生じましたが？いずれにしても、さすが藤谷先生の成せる技と感心させられることでしょう。ぜひ会場に足をお運びいただき、感動を体感していただきたいと思います。

『台本を読んで即座に承諾』

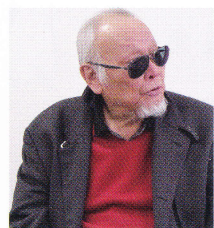
現在ヒップホップダンス講師として活動している tomoya と申します。藤谷清六さんとの出会いは、山梨県立大学教授の坂本玲子先生からのご紹介でした。お稽古場やお芝居を観させて頂き、これまでたくさんの刺激を頂きました。この度、台本を読ませていただき、私のヒップホップダンスが役立つ部分があり、お芝居は初めてですが、即座にお引き受け致しました。私は大学時代からダンスを始め、ダンス大会で優勝。独自の感性でアーティストのMV出演、某有名テーマパークCM出演や学校のクラブ講師を務めています。楽しくカッコよくをテーマにしたヒップホップダンススクール \$aucy kick ass(サウシーキックアス)を創設し、スタジオ運営を行っています。現在スクールは、甲府市・中央市・八王子の3箇所あり、総人数約200人在籍中で、4歳から60歳まで幅広い年齢層にダンスの楽しさを伝えています。SNSの発信も行っており(サウシーキックアスと検索)中でも藤谷清六さん経緯でお借りすることができた甲府善光寺を舞台とした、現(かななぎ)をぜひご覧ください。こちらはダンス大会で賞を頂いた作品のひとつです。

目下、共演者の皆様が面白い方々で、ご指導を頂きながら稽古に励んでいます。



ダンス教室講師
tomoya

『楽しいお芝居を求めて』



藤谷 清六

井上ひさし氏は、その著『芝居の面白さ、教えます』の中で次のようにのべている。

「演劇はむずかしいのは絶対に通用しませんからね。たまにむずかしいのが好きな人もいますけど、芝居を観たり小説を読んだりするときぐらい、楽しくありたいじゃないですか。」

今回、私は行きつけの居酒屋でお客さんたちの甲州弁をききながらそれを参考にこの話を書きました。平凡な日常の中に楽しみをみつけながら背伸びすることなく生きている市井の人々・・・その声をおきき下さい。

どうぞ皆様、ぜひ県立図書館多目的ホールへお越し下さい。

Staff

演出 / 藤谷 清六 演出助手 / 丸善 ゆきみ 舞台監督 / 佐々木 猛 舞台監督助手 / 島津 久美子・山田 寛幸 照明・音響 / 塚田 仁
大道具・DVD制作 / 鷹野 亮司 小道具 / 関根 慶介 衣装 / CHIAKI 宣伝・デザイン / 山中 みゆき 制作 / 松永 博美 プロデューサー / 山本 真樹